

<日商簿記1級工業簿記ミニテスト9>工業簿記の基礎

<問題>

機械の受注生産を行っている CMC 社の以下の資料と条件によって、損益計算書を作成しなさい。会計期間は 20X2 年 4 月 1 日～20X3 年 3 月 31 日までである。

1、

- (1)材料の現金仕入高 100,000 千円
- (2)材料消費額
 - 直接材料費 70,000 千円
 - 間接材料費 ? 千円
- (3)労務費の現金支払高 45,000 千円
- (4)労務費当月未払高 8,000 千円
- (5)労務費消費高
 - 直接労務費 32,000 千円
 - 間接労務費 9,000 千円
- (6)労務費前月未払高 12,000 千円
- (7)経費の現金支払高 22,000 千円
- (8)経費消費高（減価償却費を除く）
 - 直接経費 12,000 千円
 - 間接経費 10,000 千円
- (9)製造間接費予定配賦額 ? 千円
- (10)製品の現金売上高 250,000 千円
- (11)販売費・一般管理費の現金支払高 30,000 千円

2、決算整理事項

- (1)期首棚卸高
 - 材料 10,000 千円 仕掛品 49,200 製品 100,000 円
- (2)期末棚卸高
 - 材料 20,000 千円 仕掛品 53,200 千円 製品 90,000 千円
- (3)減価償却費
 - 建物 6,500 千円（工場関係 6,000 千円、販売費・一般管理費 500 千円）
 - 機械 5,000 千円
- (4)販売費・一般管理費の未払分 500 千円

※当社は製造間接費を予定配賦している。予定配賦率は前年実績（691,200 千円）を基準操業度（年間 7,200 時間）である。当月の操業度は 500 時間である。

<解答>

損益計算書

20X2年4月1日～20X3年3月31日 (単位：千円)

I 売上高		()
II 売上原価		
期首製品棚卸高	()	
当期製品製造原価	<u>()</u>	
計	()	
期末製品棚卸高	<u>()</u>	
差引	<u>()</u>	
原価差異	()	<u>()</u>
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		<u>()</u>
営業利益		<u>()</u>